

# 東京都農業会議情報

第318号  
平成22年9月

編集及び発行  
東京都農業会議  
渋谷区代々木2-10-12  
TEL (03) 3370-7145

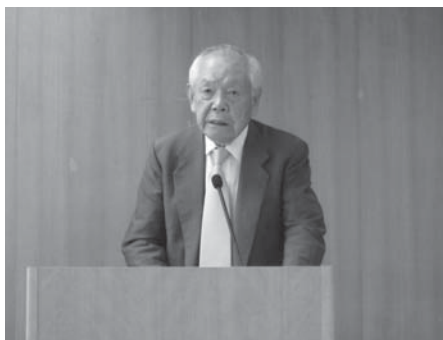
## 平成21年度事業報告・歳入・歳出決算 東京都農業政策に関する建議など決定

第107回東京都農業会議通常総会

都農業会議は8月17日に南新宿ビルにて、会議員52名の出席を得て、第107回通常総会を開きました。

波多野会長の挨拶に引き続き、都農林水産部の内田農業振興課長が来賓祝辞を述べ、議事に入りました。

議案は、①平成21年度事業報告の承認、②平成21年度歳入・歳出決算の承認、③平成22年度歳入・歳出予



挨拶を述べる波多野会長

算の一部修正、④東京都農業会議職員の服務規程、⑤同給与規程、⑥同費用弁償規程の3規程の一部変更、⑦東京都農業政策に関する建議(2面)の7議案につ

### 農業者年金の加入推進を！

平成21年度の運用総合利回りが

9・14%のプラスに！

農業者年金は、確定拠出型の公的年金制度です。

本年6月に、平成21年度の運用利回りが加入者に通知(付利通知)され、平成21年度の総合利回りは9・14%のプラスとなりました。

この年金制度は、加入者が毎月支払う保険料を2万円(6万7千円まで1千円単位で決めることができ、支払った保険料は全額社会保険料控除となります。たとえ1回でも保険料を

いて上程し、いずれも原案のとおり満場一致で決定しました。

都市計画制度の検討状況や相続税納税猶予制度見直しの動きなどを説明し、全国組織と連携を対し対応をはかることとしたほか、平成21年度食料自給率をめぐる現状や最近の認定農業者の動向について説明をいたしました。

### 建議の実現に向け東京都へ要請

東京都農業会議

都農業会議はこのたび、東京都の農業政策に関する建議を行いました。

波多野重雄会長と肥沼和夫副会長、村野弘一副会長が都庁を訪問し、保坂政彦農林



保坂政彦農林水産部長(左から2人目)に建議書を手渡す波多野会長と肥沼・村野両副会長

水産部長に面会して、知事あての文書を手渡しました。

この建議は、8月17日に開かれた第107回通常総会において決定したもので、今回は特に、かけがえのない東京の農地を次世代に残すため、都独自の施策を確立するとともに、国への強い働きかけを求める内容となっております。

(3面参照)

### あぜみち

都市農業に追い風が吹いているという▼確かに都市の農業・農地を残してほしいという意見が大勢を占めている▼しかし、相当に理解のある人でも、その前後に「ただし」と言う言葉がつくことに注意をしておく必要がある▼つまり「農業生産をしている農地については」とか、「地域住民にとつて必要な」という至極当然の言葉が前提としてある▼また、都市計画の専門家は「緑地の総量確保」という▼つまり「公園や緑地などで不足する分の緑地・空間を農地で補おう」逆に言えば「これだけの農地は残す必要がある」となる▼いざいざも「本来不要な農地の存在を特別に認める」という思想だ▼来るべき都市計画制度の見直しでは、当たり前前に農地が農地として、農業が経営として継続できる仕組みが実現できるよう、提案していく必要がある。

# 東京都農業政策に関する建議要旨

8月17日に開催した都農業会議の通常総会において決定した「東京都農業政策に関する建議」の要旨は次のとおりです。

## 1. 都市農地確保対策の推進

① 「都市農地保全条例」の制定  
東京都として積極的な都市農地の保全と農業振興を宣言する「都市農地保全条例」(仮称)を制定し、都の責務と取り組むべき行動を明確に示すこと。

② 生産緑地の積極的な確保と追加指定の促進  
都市農地保全の必要性を共通認識として関係する部局間の調整を図り、制度発足時に立ち返って農家の意向に基づく生産緑地の追加指定を行うこと。

③ 生産緑地買い取りのための基金の創設  
買い取り申し出がされた生産緑地を取得するための安定的な財源として「都市農地保全基金」(仮称)を創設すること。

④ 都市農地保全方策の検討  
「都市農地保全会議」(仮称)を設置し、都市農地保全の具体的な方策について検討すること。

⑤ 都市農地保全に向けた国への強力な働きかけ  
① 都市農業に関する基本法の制定  
「都市農業基本法」(仮称)を早急に制定するとともに、関係する省庁間の連携を強化して都市農業・農地の保全を図ること。

② 生産緑地・相続税納税猶予制度の基本堅持  
生産緑地法ならびに相続税等納税猶予制度は基本を堅持すること。

③ 生産緑地指定面積の緩和  
生産緑地の指定基準面積については自治体の意向を尊重した緩和がはかれるよう制度を改善すること。

④ 新たな都市農地保全制度の構築  
農地を安定的に次世代に受け継いでいけるよう、新たな都市農地等の保全制度を構築すること。

⑤ 山林・平地林の相続税軽減

3. 農地利用と流動化の促進

① 農地流動化の促進  
農地の貸借や農作業受委託に対する奨励金など、農地の利用を促進する施策を確立すること。

② 農地の有効利用の促進  
農地の有効利用を促進するため、遊休農地の解消をすすめる「農地リフレッシュ再生事業」をさらに拡充すること。

③ 農地を守る担い手に対する支援  
① 農業所得向上に向けた対策の確立  
② 認定農業者に対する支援の強化  
地域農業を担う中核である認定農業者の農業経営改善をサポートする各種事業を拡充し、支援体制を強化すること。

③ 労働力確保体制の確立  
ヘルパーやボランティア、農作業受託組織等と農業者を結び施策を確立すること。

④ 都民に対する啓発  
農業・農地が都民生活に對して果たしている多面的な機能や役割、農地に関わる制度等について理解を深めるための啓発活動を積極的に行うこと。

## 常任会議員会議

### 第5回常任会議員会議

平成22年8月17日に開催し、状況は次のとおり。

#### 議事

農地法4条・5条の規定に基づく知事諮問は、4条3件741㎡、5条8件8767・36㎡について審議し、許可相当と答申する旨決定した。

### 第6回常任会議員会議

平成22年9月17日に開催し、状況は次のとおり。

#### 議事

農地法の規定に基づく知事諮問は、5条2件79・15㎡について審議し、許可相当と答申する旨決定した。(4条の諮問はなし)

① 平成23年度東京都農業会議事業・予算の構想について協議し、10月8日開催の区市町村賛助員協議会に提出することとした。

② 下期農業委員会活動の推進について協議し、引き続き積極的に取り組むこととした。

③ 農業委員会活動推進フォーラム開催要領(案)を協議し、11月19日(金)

に、「都市農業経営を発展的に継続しうる都市計画法の見直しに向けて」をテーマに府中市生涯学習センターで開催することを決定した。

① 東京都農作物生産状況調査(平成20年産)の結果を報告した。

② 公表された2010年農林業センサス(暫定値)の概要を説明した。

③ 国土交通省が設置する都市計画制度小委員会の審議状況を説明し、今後の動向に注視することとした。

④ 平成23年度の農林水産予算の概要を説明した。

農水省では平成21年度に実施した全事業の点検を行い(行政事業レビュー)、平成23年度予算に反映するものとして、既存事業の廃止や予算額削減により、2000億円程度を減額する方針を示した。

レビューでは、農業委員会交付金のあり方にも言及し、今後、組織的な対応が必要となることを説明した。

# 東京都農作物生産状況調査結果概要

都農業会議は、東京都の委託を受け、平成20年産の東京都農作物生産状況調査をとりまとめました。

本調査の実施にあたりましては、調査対象者各位はもとより、農業委員会をはじめ区市町村、JA、関係機関より多大なるご協力をいただきましたこと、あらためてお礼申し上げます。また、本調査は、平成19年産以降、毎年、実施するものです。

本年度につきましても、本調査の実施につきましてご協力を賜りますこと、あらためて、お願い申し上げます。

ここで、調査結果の概要などを報告します。

**【調査名】** 東京都農作物生産状況調査（平成20年産）

**【調査対象期間】** 平成20年1月～12月

**【調査対象区市町村】** 49区市町村

（農地のある都内区市町村 ※北区を除く）

**【調査対象者】** 農業経営面積10アール以

上の農家。もしくはそれに準ずる農家

**【対象作物】**

野菜・花き・果樹・穀類・  
工芸作物・植木・グラウンド  
カバー

**【調査項目】**

作付面積、出荷量（花き  
など）、生産本数（植木）  
など

**【調査状況】**

① 調査対象者

1万5千991戸

② 調査回収

1万1千730戸（回収率約75・2%）

③ 有効回答

1万1千200戸（有効回答率約70・0%）

**【調査結果概要】**

東京都全体・地区別・区市町村ごと

① 農業産出額Ⅱ4ページに掲載

② 農業産出額順位（野菜・果樹・花き・工芸作物のみ対象）Ⅱ4ページに掲載

③ 作付のべ面積Ⅱ4ページに掲載

④ 主要野菜作付面積・収穫量（東京都全体・地区別）Ⅱ3ページに掲載

## 都内主要野菜作付面積・収穫量（地区別）

東京都全体			特別区計			西多摩計		
品目	面積(ha)	収穫量(t)	品目	面積(ha)	収穫量(t)	品目	面積(ha)	収穫量(t)
こまつな	494	9,510	こまつな	265	5,045	ばれいしょ	66	1,359
ほうれんそう	340	3,957	キャベツ	69	2,894	とうもろこし	47	439
ばれいしょ	280	5,622	えだまめ	48	459	だいこん	37	1,625
だいこん	239	10,102	ブロッコリー	40	394	さといも	34	360
キャベツ	235	10,289	ばれいしょ	31	554	はくさい	33	1,568
さといも	221	2,285	だいこん	31	1,131	ねぎ	30	622
ブロッコリー	215	2,247	ほうれんそう	22	259	ほうれんそう	26	300
とうもろこし	181	1,673	ねぎ	21	373	かんしょ	22	375
ねぎ	153	3,020	さといも	16	152	キャベツ	22	989
かんしょ	148	2,305	とうもろこし	15	128	きゅうり	22	568

南多摩計			北多摩計			島しょ計		
品目	面積(ha)	収穫量(t)	品目	面積(ha)	収穫量(t)	品目	面積(ha)	収穫量(t)
ほうれんそう	83	968	ほうれんそう	208	2,424	あしたば	100	1,673
ばれいしょ	79	1,628	こまつな	140	2,744	かんしょ	30	345
こまつな	76	1,477	ブロッコリー	126	1,338	ばれいしょ	16	281
だいこん	74	3,213	キャベツ	105	4,702	さといも	15	107
さといも	60	638	さといも	97	1,029	さやえんどう	5	45
ねぎ	47	970	だいこん	93	4,008	だいこん	4	125
とうもろこし	44	409	ばれいしょ	89	1,801	トマト	4	200
かんしょ	44	739	とうもろこし	74	684	きゅうり	3	74
なす	40	3,219	にんじん	72	2,655	たまねぎ	3	92
トマト	38	2,650	えだまめ	67	638	すいか	3	64



東京都農作物生産状況調査結果(概要)

H22.8

区分	作付面積 (ha)	農業産出額 (千万円)	農業産出額順位(野菜・果樹・花き・工芸作物の順位のみ掲載)				
			1位品目	2位品目	3位品目	4位品目	5位品目
目黒区	3	2	ぶどう	トマト	なす	ポインセチア(鉢もの)	きゅうり
中野区	5	2	トマト	カリフラワー	シクラメン(鉢もの)	えだまめ	だいこん
大田区	2	1	花き類	シクラメン(鉢もの)	こまつな	ほうれんそう	ねぎ
世田谷区	162	44	花き類	こまつな	ぶどう	トマト	えだまめ
杉並区	59	29	トマト	クリスマスローズ(鉢もの)	なす	花木・野菜苗	えだまめ
板橋区	21	7	花き類	ぶどう	かんしょ	ばれいしょ	だいこん
練馬区	280	116	キャベツ	トマト	ぶどう	えだまめ	なす
足立区	119	71	こまつな	えだまめ	ムラメ	きく(切花)	なばな
葛飾区	81	42	こまつな	えだまめ	トマト	ねぎ	なす
江戸川区	185	134	こまつな	ハーブ	しんとり	トマト	えだまめ
区部計	915	447	こまつな	トマト	えだまめ	キャベツ	ぶどう
青梅市	405	93	トマト	ばれいしょ	なす	ねぎ	きゅうり
福生市	13	7	パンジー・ビオラ(苗もの)	トマト	サルビア(鉢もの)	花き類	かんしょ
あきる野市	318	101	トマト	なばな	とうもろこし	なす	きゅうり
羽村市	43	21	トマト	パンジー・ビオラ(苗もの)	なす	ねぎ	キャベツ
瑞穂町	181	52	トマト	なす	パンジー・ビオラ(苗もの)	きゅうり	マリーゴールド(苗もの)
日の出町	88	26	トマト	なす	ばれいしょ	きゅうり	なばな
奥多摩町	24	21	わさび	ばれいしょ	トマト	しいたけ	さといも
檜原村	34	15	花き類	ばれいしょ	さといも	はくさい	みょうが
西多摩計	1,107	334	トマト	なす	ばれいしょ	わさび	きゅうり
八王子市	792	281	トマト	なす	こまつな	ほうれんそう	だいこん
町田市	509	218	トマト	バラ	なす	ほうれんそう	こまつな
日野市	157	103	日本なし	トマト	ブルーベリー	ぶどう	なす
多摩市	39	13	トマト	なす	ブルーベリー	かんしょ	ねぎ
稲城市	133	127	日本なし	ぶどう	トマト	なす	ブルーベリー
南多摩計	1,629	743	日本なし	トマト	なす	こまつな	ほうれんそう
立川市	355	112	トマト	ほうれんそう	こまつな	日本なし	ブルーベリー
武蔵野市	43	22	トマト	日本なし	ぶどう	えだまめ	なす
三鷹市	212	81	トマト	ぶどう	なす	えだまめ	ブルーベリー
府中市	128	75	こまつな	日本なし	ワケネギ	トマト	えだまめ
昭島市	65	34	日本なし	トマト	こまつな	ほうれんそう	なす
調布市	156	67	トマト	こまつな	ぶどう	えだまめ	なす
小金井市	79	31	トマト	日本なし	こまつな	なす	キウイフルーツ
小平市	231	100	日本なし	トマト	なす	ほうれんそう	えだまめ
東村山市	168	89	日本なし	トマト	ぶどう	かんしょ	パンジー・ビオラ(苗もの)
国分寺市	159	56	トマト	ブルーベリー	なす	プロッコリー	うど
国立市	58	22	こまつな	ほうれんそう	日本なし	トマト	なす
西東京市	179	99	トマト	こまつな	日本なし	キャベツ	ほうれんそう
狛江市	44	20	トマト	えだまめ	なす	こまつな	ネギ
武蔵村山市	168	61	こまつな	ほうれんそう	トマト	日本なし	なす
東大和市	67	26	日本なし	トマト	だいこん	ほうれんそう	なす
清瀬市	233	91	ほうれんそう	にんじん	みずな	クリスマスローズ(鉢もの)	さといも
東久留米市	207	86	ほうれんそう	トマト	こまつな	えだまめ	日本なし
北多摩計	2,551	1,073	トマト	日本なし	ほうれんそう	こまつな	なす
多摩地域計	5,287	2,150	トマト	日本なし	こまつな	ほうれんそう	なす
大島町	238	51	樺(実)	ガーベラ	あしたば	さやえんどう	フリージア(球根切花)
利島村	152	7	樺(実)	あしたば	-	-	-
新島村	25	18	あしたば	かんしょ	トマト	レザーファン(切葉)	ルスカス(切葉)
神津島村	19	29	レザーファン(切葉)	あしたば	フェニックス・ロベレニー(切葉)	トマト	ミニトマト
三宅村	42	33	あしたば	レザーファン(切葉)	さやえんどう	トマト	かんしょ
御蔵島村	7	3	あしたば	エビネラン(鉢もの)	-	-	-
八丈町	339	201	フェニックス・ロベレニー(切葉)	フェニックス・ロベレニー(観葉鉢もの)	フリージア(球根切花)	あしたば	レザーファン(切葉)
青ヶ島村	15	3	かんしょ	フェニックス・ロベレニー(切葉)	とうがらし	さといも	ばれいしょ
小笠原村	16	13	パッションフルーツ	トマト	ミニトマト	マンゴー	きゅうり
島しょ計	852	358	フェニックス・ロベレニー(切葉)	あしたば	レザーファン(切葉)	樺(実)	フリージア(球根切花)
東京都計	7,054	2,955	トマト	こまつな	日本なし	ほうれんそう	なす

※ 植木と畜産は除く

### 羽村市農業委員会の農地保全活動など研究

#### 農地部会長研究会開く

都農業会議は、9月8日に農地関係部会長研究会を羽村市で開きました。

本研究集会は、農地法改正により、同法第30条において農業委員会が「農地利用状況調査」を年1回以上実施することが位置づけられたことから、農地パトロールを年3回実施する羽村市農業委員会（宮川修会長）の先進的な取り組みを研究しようと開いたものです。

羽村市の農業の状況から農業委員会の活動まで、宮川農委会長が説明をし、特に、農地パトロール（農地利用状況調査）においては、耕作が不十分な農地が見受けられた場合は、会長自らが所有者宅を訪



羽村市農業委員会の活動を報告する宮川会長

れ、改善を促すなどの活動が報告されました。

そのほか、生産緑地の追加指定、農ウオーク、学校給食の地場野菜の活用、情報の発信など多岐にわた

### 所沢市農業委員会の活動など研究

#### 農業委員会職員現地研究会開く

都農業会議と都農委会職員研究会は、9月3日に、埼玉県所沢市にて農業委員会職員現地研究会を開きました。

本研究会は、東京都に隣接する都外の市町村の農業委員会活動や事務などを研究しようと毎年開いているもので、本年は、所沢市の農業施策や農業委員活動などについて研究をしました。

まず、同市農政課より農業の概要や農業施策を、次いで、同市農業委員会よりこのほどスタートさせた「農地サポート事業」などについて説明を受けました。

同サポート事業は、農地制度の改正などを受け、遊休農地などを農地利用するため農地の貸し借りや売買の希望を台帳に記載し農地

る農業委員会の活動とあわせ、市街化区域で都内随一の集団的な水田を保全する難しさなどの課題を話ししました。

現地研究会では、水田の状況をはじめ、都市農業経営、農作物直売所などを研究しました。



所沢市の陽子ファームでは、いち早く無農薬栽培に取り組み、ブランド化に成功

の流動化を進めていくもので、今後は、都内の市街化区域の認定農業者が受け手となるなどの連携がはかれるかなどについて意見交換をしました。

現地研究では、無農薬野菜などを生産し、都市近郊ならではの販売方法で経営を確立している陽子ファームを研究しました。

### 市街化区域以外における農地流動化の促進を！

8月～10月は農地流動化推進月間です

改正農地法が昨年12月15日に施行され、農地の「所有」から「利用」へと、法の目的が変わり、制度上、農地の利用を進めることが打ち出されました。

市街化区域においては、相続税納税猶予制度と生産緑地法の取り扱いから、事実上、農地の貸借は難しくなっています。一方、市街化区域以外においては、相続税納税猶予制度と農業経営基盤強化促進法の改正などにより法整備がされ、担い手へ積極的な農地流動

化推進月間です。8月～10月は、農地流動化推進月間です。

農地利用状況調査などを通じ、市町村および関係機関と連携をはかりながら農地の利用を進めましょう。

### 農地制度改正による農業委員会の取り組みなど研修

#### 都内4地区で農業委員研修会開く

都農業会議は、7月から8月にかけて、農業委員研修会を地区ごとに都内4か所で開き、総計500人の農業委員などが出席しました。

研修会では、都農業会議より、東京農業の現状、農地と農政をめぐる情勢について報告をし、農地制度改正に伴う取り組みについて

説明をしました。

農業委員会の対応として、農地制度の改正に関する重要ポイントを整理し、理解を深めるとともに、農地利用状況調査の実施などにより、あらたに加わった活動などについて説明をしました。

また、農業委員会活動の推進について説明をし、活発な質疑応答がされました。

### 永年勤続会員表彰・講演会開く

東京都農業委員会職員研究会が全体研究集会開く

東京都農業委員会職員研究会(鈴木誠会長)は、8月27日に、全体研究集会を南新宿ビルにて開きました。

はじめに、第36回永年勤続表彰を行い。会員8名が表彰されました。(写真)表彰者は左記の8名です。

- 伊藤雅之(練馬区)
- 高野佳弘(青梅市)
- 徳永健太(青梅市)
- 青木邦彰(あきる野市)

### 市長に建議

#### 農業委員が主旨説明

日野市農業委員会

日野市農業委員会はこのたび、市長に対する建議を行いました。

天野武雄農業委員長から馬場弘融市長に建議を手渡すとともに、農業委員が分担して建議の各章を説明し、実現を要望しました。

また、建議で要望している具体的な内容について市長との意見交換を行いました。

「平成23年度日野市農業施策に関する建議」には、補助事業における補助枠の拡充や、認定農業者など担い手に対する支援の充実、食育のさらなる推進など、幅広い内容が盛り込まれています。

- 石田昭男(稲城市)
- 岡崎茂樹(昭島市)
- 宮坂哲史(西東京市)
- 関昇司(清瀬市)

(敬称略)

表彰に引き続き、敬愛大学の覚正豊和教授(税理士・家裁調停委員)を招き「農業に関する法と体系」をテーマに、講演会を開きました。

覚正教授は、まず「人の支配を経て法の支配により社会を形成している」ことを説明し、慣習と法の関係などについて述べた後「農地法などの農業に関する法律の特殊性として、①農業

経営が一般的に家族経営であること、②農作物一般の需要と供給の弾力性が少ないこと、③農作物の価格統制が困難なこと、また、④農業を営む社会関係および範囲は、限定的で永続的さからに血縁的で固定的であり集団的であること」を話し、その特殊性を背景に農業に関する法律が成り立っていることなどを説明しました。

### 要望の実現に向け東京都に要請活動・意見交換を実施

東京都農業経営者クラブ

都農業経営者クラブ(石川清会長)は、このほど、東京都に対する要請活動を行うとともに、都農林水産部との意見交換会を開きました。



中島副会長(左)より表彰状の伝達を受ける清瀬市の関さん(右)

### 新・農地の法律がよくわかる百問百答

全国農業図書で紹介

「新・農地の法律がよくわかる百問百答」は、改正された農地法、農業経営基盤強化促進法、市民農園に関する事項などをQ&A形式でわかりやすく解説しています。

例えば、①今回の農地制度の改正点は? ②農地法は何を目的にどのようなことを規定しているか? ③耕作放棄地は農地法上の農地

か? ④耕作目的での農地の売買の手続きは? ⑤耕作目的で法人が農地を取得できるか? ⑥無償で貸す農地を返してもらう場合は? ⑦農業経営基盤強化促進法とは? など、基本的事項を集約した農業委員の必携図書となっています。(A5版・320頁・定価2000円・注文は農業会議まで)



龍野都課長に要望書を手渡す石川会長と水村・小坂両副会長

要望した内容は、6月の通常総会で決定した「東京都農業の確立に関する要望」についてで、東京都の農業施策に対し、独自の農業所得確保対策の確立や認定農業者に対する支援施策の充実、農業労働力不足への対応策などを求める内容となっていました。

なっています。

この要請活動には、各区市農業経営者クラブの会長や役員などあわせて25人が参加しました。

意見交換では、参加者が各々の農業経営や地域の課題を出し合いました。

出席した都農林水産部の龍野農業基盤整備担当課長は「東京農業は都民から注目されておりさらに理解者を増やしたい」と話しました。

### 10月・11月の日程

- 10・8(金) 賛助員協議会
- 10・18(月) 第7回常任会議
- 10・28(木) 29(金) 農委会長現地研究会 (愛知県豊田市)
- 11・17(水) 監査会/第8回常任会議
- 11・19(金) 農委会活動フォーラム (府中市生涯学習センター)

### ◇地区別職員検討会◇

- 11・30(火) 区内地区
- 12・1(木) 南多摩地区
- 12・3(金) 島しょ地区
- 12・6(月) 北多摩西部
- 12・7(火) 西多摩地区
- 12・9(木) 北多摩北部
- 12・14(火) 北多摩南部